

ゴール10：人や国の不平等をなくそう

令和4年度
大阪府SDGsビジネス創出支援事業
SDGsビジネスマップ

原材料・環境・作る人に配慮した商品開発 オリジナルグッズ・コラボレーショングッズの作製



プレゼンターからの一言

大きなことは出来なくとも、商品に関わるすべての方がちょっと幸せになれる、そんな商品作りを目指しています。今回の事業を通して、授産製品やフェアトレード商品をより多くの方に知ってもらう「きっかけ」を作りたいと考えています。たくさんある社会問題の1つを知ってもらい、1人1人が少しずつでもサポート出来ることがあるという事を知ってもらえる機会に繋がれば嬉しいです。自分だけでは出来ることは少なくても、皆さまがアクションして下さることにより、誰かのプラスに繋がっていく連鎖やきっかけをつくる事が出来ると思っております。

企業名	株式会社F-key		
所在地	大阪府堺市	資本金	280万円
設立	2015年10月	従業員数	1名
企業URL	https://www.instagram.com/f_key_04/		
事業内容	雑貨販売		

解決したい社会課題・地域課題の背景や内容	SDGsビジネスが与える社会課題解決への影響
<ul style="list-style-type: none"> 障がい者福祉事業所に商品開発や製作を依頼することにより、工賃の向上に繋げ経済的自立を支援し、やりがいや社会とのつながり作りの支援を目指す 環境破壊や低賃金労働者や児童労働を防ぎ、最終的には生産者・労働者の権利や知識、技術の向上による自立を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> フェアトレード商品や授産製品を扱うことにより、環境への配慮、障害のある方や発展途上国の方々への継続した支援に繋げる。

SDGsビジネスの内容・ビジネスモデル
<ul style="list-style-type: none"> 環境や人に配慮されたオリジナルグッズやコラボレーショングッズの製作 すでにある各社のロゴやキャラクター等を使ったオリジナルグッズ・ノベルティの製作 または1からご一緒に商品開発 商品例：バッグ・陶器・さらしハンカチ・ポーチ・さをり織り商品・焼き菓子など 仕入先はフェアトレードメーカーや障がい者施設（約50団体とのネットワーク）



製品・サービスの特徴・強み、導入実績
<ul style="list-style-type: none"> 原材料からデザイン、製作までこだわった製品作り グッズを製作したい企業と福祉施設等の繋ぎ役としてそれぞれのニーズに合った製品作りを最後まで一緒に行う。 ⇒「してあげる」「してもらっている」ではなく対等な関係を築いていける仕組みを構築 小ロットからの発注も可能 どのような材料を使いどの施設で、どのような方が作っているのかまで製作のストーリーも含めすべてオープンにお伝えすることが可能。



OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

今回参加させていただき、SDGsビジネスに関心のある企業の方々と多く繋がることができたのが大きな成果です。今まで知らなかった情報や、発信方法、販路など、関わって下さる皆さまのおかげで少しずつ新しい広がりができています。今後もこの繋がりを大事ににして、SDGsビジネスを知ってもらう「きっかけ」作りを広げていけるよう活動して参ります。

文化や言葉の壁を乗り越えて、自分自身のアイデンティティーに自信を持とう。



プレゼンターからの一言

このサービスを必要としている子供達に、早く知ってほしい！早く伝えたい！
多国籍(他国籍)キッズ・帰国子女が安心して学び、暮らせる日本に。



企業名	多国籍キッズ & 帰国子女専用オンラインアフタースクールOASIS		
所在地	大阪府吹田市	資本金	—
設立	2022年8月	従業員数	1
企業URL	https://oasis2022.net/		
事業内容	多国籍キッズや帰国子女キッズ専用のオンラインアフタースクールの運営		

解決したい社会課題・地域課題の背景や内容	SDGsビジネスが与える社会課題解決への影響
<ul style="list-style-type: none"> 「日本語が分からない」ことで勉強を諦め、「日本語がうまく話せない」ことで友達ができず、「日本人なのに考えや行いが違う」ことでいじめられる子供達があります。そんな子供達が孤独を感じる事ことなく過ごせる居場所としてこのOASISを起業。また外国籍労働者にとってもその子供が日本の生活に馴染めないことで離職・帰国してしまう現状を減らし、親子共々サポートをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 多国籍キッズ・帰国子女の子供たちが日本で居場所を見つけられ、勉学の機会を増やす。 日本の将来を担う大切な人材を育成することで、今後の日本の労働力不足解消や国際交流を促進する。 外国籍労働者を雇うことに不安を感じている企業が安心して新たな人材確保ができ、グローバル化に取り組める。

SDGsビジネスの内容・ビジネスモデル
<ul style="list-style-type: none"> オンラインで小人数で宿題を一緒にしたり、日本語で色々なお話をして、同じような境遇の仲間が集う居場所を提供。 個人向けだけでなく、外国籍の方々を採用されている会社や駐在所をお持ちの会社の福利厚生としての利用も可能。



製品・サービスの特徴・強み、導入実績
<ul style="list-style-type: none"> 親身なサポート 実際多国籍キッズをもつ保護者や自身が帰国子女の学生が学業や生活面、精神面を親身にサポート⇒同じような経験を持つ者がサポートすることで問題を的確に見つけ、解決策を共有することができる。 コミュニティの提供 子供同士の繋がりだけではなくその保護者やその家族のサポートも不可欠であり、同じような境遇の仲間が集うコミュニティを提供⇒コミュニティを持つことで人脈が広がり、色々な情報も得ることができるので、生活も暮らしやすくなる。 独自のカリキュラム 塾講師や家庭教師の現役大学生が勉強のサポート、日本語学校での指導経験者が日本語のサポートをし、学ぶ楽しさを提供するカリキュラムを持つ。また子供達の心の状態や日本語のレベルに沿ったサポートに取り組めます。



OSAKA SDGsビジネスマッチングの成果や今後の方向性について

異業種の企業様と知り合えたことで、SDGS全体の動きを見ることができ、お話も大変参考になりました。またどんなに素晴らしいサービスでも、世間に認知して頂けないと進んでいけないことにも痛感しました。今後は行政やNGO等とのコネクション作りにも積極的に取り組んでいこうと考えております。